※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「地学基礎」＜改訂版＞　（啓林館）						
副教材等	「地学基礎の基本マスター　四訂版」（啓林館）、プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書・プリントを用いて授業を行います。各単元において、地球や地球を取り巻く環境に興味・関心を持ち、地学の基本的な概念や原理を学習する。日常生活との関わりも意識し、科学的に考える力を身につける。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地球や宇宙についての事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	地球や宇宙で発生している事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	地球や宇宙の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
評価方法	・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト・定期考査 ・実験・観察 ・課題資料	・発問評価 ・ノート提出 ・小テスト・定期考査 ・実験・観察 ・課題資料	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験・観察 ・課題資料

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価していく。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地球の構造と活動	地球の構造 プレートテクトニクスと地球の活動 地震や火山活動	a：中央海嶺，海溝，大山脈のような大地形がプレートの運動によって形成されることについて考えることができる。 b：地震，火山などの地球の活動が，プレート境界と関連があることを調べることができる。 c：プレートの分布と運動，およびプレート運動に伴う地殻変動について関心を持ち、地球内部の構造を探求する態度を養う。また、その密度や性質から地震波の特徴もあわせて考えようとする。	定期テスト 小テスト 発問評価 授業 ノート	定期テスト 小テスト 発問評価 授業 ノート 実験 レポート	授業態度 授業 ノート 課題提出 実験 レポート
2学期	大気と海洋	大気の構造 大気中の水蒸気 日本の天気 1 年間を通しての日本の気象	ａ：気団や日本の天気の特徴，集中豪雨や台風についても理解する。 ｂ：飽和水蒸気圧と温度との関係を示すグラフから，相対湿度を計算によって求めることができる。 ｃ：大気の組成や大気圏の構造，オゾン層，雲の発生に関心をもち意欲的に探求しようとしている。日本の天気について自ら探求し、簡単な予報ができる態度を養う。	定期テスト 小テスト 発問評価 授業 ノート	定期テスト 小テスト 発問評価 授業 ノート 実験 レポート	授業態度 授業 ノート 課題提出 実験 レポート
3学期	移り変わる地球／自然との共生	宇宙と地球 太陽系の誕生 地球環境と私たち 災害について	ａ：宇宙の始まりや広がりを理解するとともに、発生する原因や恒星などの知識を身につける。また、地球環境の変化に伴う災害について考えることができる。 ｂ：災害の観測方法を理解し、将来の地震や噴火などの災害に対して自ら調べることができる。 ｃ：太陽系の内部構造や、天体について興味を持つ。また、防災や減災について自分が取れる行動を判断し、我々が暮らす地球の環境変化について探求しようとしている。	定期テスト 小テスト 発問評価 授業 ノート	定期テスト 小テスト 発問評価 授業 ノート 実験 レポート	授業態度 授業 ノート 課題提出 実験 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現
　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなる。